

サイエンスカフェ in 静岡

申込不要
参加無料

第37シーズン

サイエンスの
最前線を分かりやすく
お話します。
お気軽に起こし
ください。



第167話

9月
21日(木)



全固体電池の実現に向けた固体電解質の開発

理学部 化学科 守谷 誠

リチウムイオン電池に続く次世代蓄電池の候補として、全固体電池への関心が高まっています。全固体電池を実現するには、リチウムイオンを高速に拡散させる固体電解質の開発が欠かせないため、国内外で熾烈な競争が行われているところです。今回は、このような固体電解質と全固体電池の研究について紹介したいと思います。



第168話

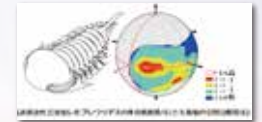
10月
26日(木)



モゾモゾ、ゴソゴソ、どう視てた?:三葉虫の進化形態学

理学部 地球科学科 鈴木 雄太郎

太古の昔に絶滅した“化石生物”。一体どのような生物でどのように生きていたのか? 検証不可能ですが、ふつふつと湧いてしまうこういった素朴な疑問は、単純明快に答えることができないなかなか難問です。そんな難問への取り組みを紹介します。



第169話

11月
30日(木)



柔らかい物質が作るナノ構造

理学部 物理学科 岡 俊彦

液晶、高分子、コロイド、生物物質などの柔らかい物質を総称してソフトマターと呼びます。ソフトマター分子間の相互作用により、自己組織化し様々なナノ構造が形成されます。このナノ構造形成についてお話します。



第170話

12月
21日(木)



微分方程式の適切性 ~ベクトル空間の枠を超える挑戦~

理学部 数学科 田中 直樹

微分方程式の解法に指数関数が用いられます。ベクトル演算が可能な世界へ指数関数を一般化した「作用素半群」の誕生から現在までを振り返ります。さらに、近年の話題の1つであるベクトル演算ができない世界における微分方程式の適切性(解の存在、一意性、解の初期値に関する連続依存性)についてご紹介します。

第171話

1月
18日(木)



光や温度を感じて生きる植物たち

理学部 生物科学科 木暮 暁子

植物は移動することができません。そのため、種子が落ちた場所で生き延びて子孫を残すためには、よりよい環境条件で発芽、成長し、花芽をつける必要があります。本講演では、植物がどのように光や温度などの環境条件を感じ、その場所の環境条件に適応して生きているのか、その仕組みを紹介します。

場所 / B-nest 静岡市産学交流センター

ペガサート6階プレゼンテーションルーム

静岡市葵区御幸町3-21

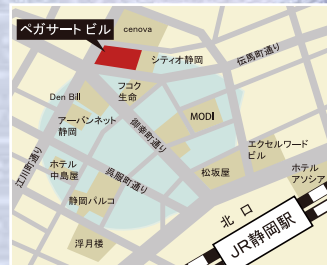
<http://www.b-nest.jp>

時間 / 18:00~19:30

(開場17:30)

定員150名(先着順)

※情勢により変更することがあります。
また満席に達した場合、ご入場いただけません。



主催 / 静岡大学理学部 【お問い合わせ】 理学部総務係 TEL:054-238-3080 [平日9:30~15:30]

e-mail: scafeweb@suml.cii.shizuoka.ac.jp HP: <https://www.sci.shizuoka.ac.jp/science-cafe> Twitter: @SciCafeShizu34

サイエンスカフェin静岡 検索

※イラストはイメージです

